

報道関係各位

**知っていますか？ 電子版お薬手帳
20 代～60 代以上の紙(冊子)の“お薬手帳ユーザー”に聞いた
『電子版お薬手帳に関する意識調査』**

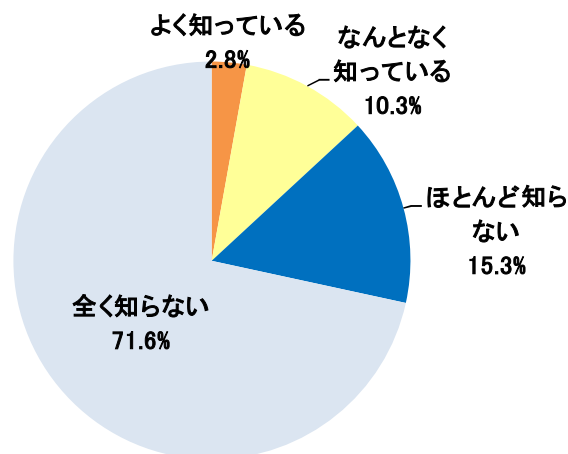
全国 47 都道府県で調剤薬局を展開する日本調剤株式会社(本社:東京都千代田区丸の内、代表者:取締役社長 三津原 博)は、10 月 1 日より自社開発の電子版お薬手帳「お薬手帳プラス」(注1)のサービスを開始します。

それに伴い『電子版お薬手帳に関する意識調査』を実施しました。本調査は、「現在、紙(冊子)のお薬手帳を使用している(お薬手帳を持っていて、処方薬をもらう際に持参する人)」全国の 20 代～60 代以上の男女 1,095 人を対象に、2014 年 9 月 5 日～8 日の期間にインターネット調査を実施し、その結果をまとめました。

 **調査結果のポイント**

1. 紙のお薬手帳を使用していて便利だと思う点は、「薬剤師に薬の飲み合わせを確認してもらえる」(62.2%)、「自分の服用している薬をすぐに確認できる」(61.5%)が多かった。
2. 一方、不便だと思う点は、「つついっ持っていくのを忘れる」(56.9%)、「冊子なので持ち歩くとかさばる」(39.7%)が多い結果となった。
3. 現在、紙のお薬手帳を使用している人の「電子版お薬手帳」に対する認知度は低く、『知っている』(「よく知っている」+「なんとなく知っている」)人は全体の 13.1%であった。性年代別でみると、20 代男性は他の性年代より『知っている』割合が高く 32.0%、次いで、30 代男性 23.7%となった。

「電子版お薬手帳」の認知 (n=1095)



4. 「電子版お薬手帳」を『知っている』と回答した人でも、使ったことがある人は 23.6%と利用経験者は少ない。

5. 今後、「電子版お薬手帳」を使いたいと思う人は約半数の48.3%。最も利用意向が高い性年代は30代男性で58.9%が「使いたい」と回答。次いで60代以上の男性(58.1%)、40代男性(52.8%)となった。
一方、利用意向が最も低いのは60代以上の女性で、37.4%が「使いたいと思わない」と回答。
6. 電子版お薬手帳を「使いたい理由」を聞いた自由回答からキーワードを抽出した結果、『便利』、『忘れない』、『情報管理が容易』という回答が多く挙げられた。
7. 電子版お薬手帳を「使いたいと思わない理由」を聞いた自由回答から抽出したキーワードでは、『面倒くさい・不便』、『必要ない・冊子で十分』、『情報の流出が心配』という回答が多く挙げられた。
8. 電子版お薬手帳にあると「便利・使ってみみたい機能」のトップ3は、「薬の効能、副作用などの詳細情報がわかる」(58.2%)、次いで「薬代などの医療費の記録」(41.7%)、「これまでの通院記録」(37.0%)。

【調査概要】

調査方法: インターネット調査

調査地域: 全国

調査対象者: 「紙のお薬手帳を持っていて、処方薬をもらう際に持参する」20代～60代以上の男女 1,095人

サンプル構成: 全体 1,095 男性 569 女性 526

20代(全体 155 男性 50 女性 105)

30代(全体 305 男性 202 女性 103)

40代(全体 213 男性 108 女性 105)

50代(全体 210 男性 104 女性 106)

60代以上(全体 212 男性 105 女性 107)

調査手法: インターネット調査

調査期間: 2014年9月5日(金)～9月8日(月)

調査実施機関: 株式会社インテージ

(注1)「お薬手帳プラス」とは

日本調剤 電子版お薬手帳

お薬手帳  プラス

「お薬手帳プラス」は、従来のお薬手帳の機能を最大限生かし、かつインターネット環境を活用し最新機能を搭載した情報提供サービスとして、ユーザーである患者さまにとって、より使いやすい電子版のお薬手帳サービスとして開発した日本調剤独自の電子版お薬手帳です。

[お薬手帳プラス サービス概要]

◇サービス内容: スマートフォンやPCを利用した服薬情報提供サービス(無料)

◇主な搭載機能

< 基本機能 > 服薬情報提供、ジェネリック医薬品試算、ユーザー情報管理、家族管理機能、
他薬局の服薬情報取り込み

< プラス機能 > カレンダー機能(飲み忘れ防止・通院予定・年間医療費通知)、アラーム機能(服用
タイミング、服薬確認など)、健康記録(体組成計・血圧等の記録管理、ヘルスケア
機器との自動データ連携)、処方せん送信機能(日本調剤の薬局へ処方せん情報
を送信)、店舗検索(日本調剤の店舗検索)

【調査結果】

Q1 お薬手帳が「便利だと思う」点は、どのようなところですか。(回答はいくつでも)

紙のお薬手帳が便利だと思う点のトップ3は、「薬剤師に薬の飲み合わせを確認してもらえる」(62.2%)、「自分の服用している薬をすぐに確認できる」(61.5%)、「服薬内容を薬剤師や医師に正確に伝えることができる」(51.0%)で、いずれの項目も半数以上の人々が便利点として挙げている。

[表 1] 紙のお薬手帳が「便利だと思う」点

	回答者数	%
TOTAL	1095	100.0
薬剤師に薬の飲み合わせを確認してもらえる	681	62.2
自分の服用している薬をすぐに確認できる	673	61.5
服薬内容を薬剤師や医師に正確に伝えることができる	558	51.0
以前服用していた薬の記録を残しておくことができる	539	49.2
薬が重複投与されていないかを確認してもらえる	410	37.4
病院受診時の問診票を書くとき、正確な薬の名称が記入できる	418	38.2
災害時や緊急時などに自分の服用薬の記録として活用できる	322	29.4
子供や家族の服薬情報を冊子ごとにまとめて管理できる	109	10.0
自分の健康ノートとして薬情報以外のメモ記録として利用している	81	7.4
特にない	95	8.7

Q2 お薬手帳が「不便だと思う」点は、どのようなところですか。(回答はいくつでも)

一方、紙のお薬手帳が不便だと思う点は、「つついっ持っていくのを忘れる」が最も多く56.9%。次いで「冊子なので持ち歩くとかさばる」(39.7%)、「紛失すると自分の服用情報を失ってしまうことになる」(19.1%)となった。

[表 2] 紙のお薬手帳が「不便だと思う」点

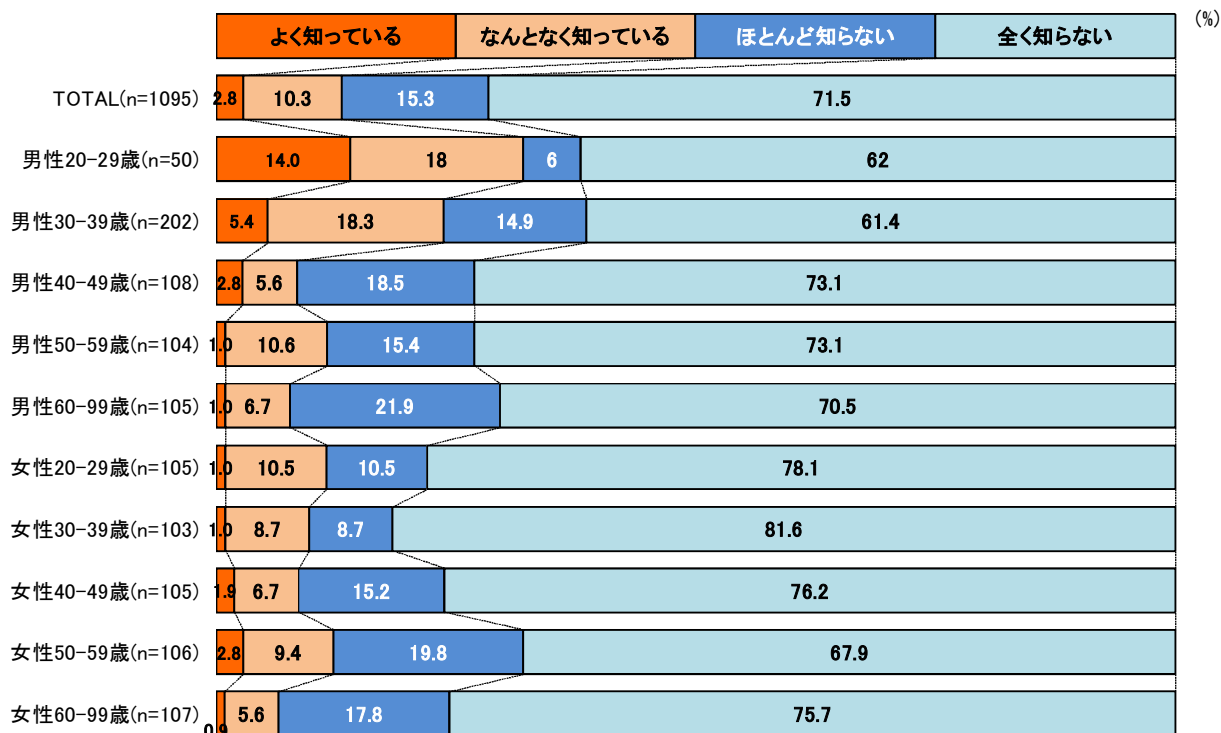
	回答者数	%
TOTAL	1095	100.0
つついっ持っていくのを忘れる	623	56.9
冊子なので持ち歩くとかさばる	435	39.7
紛失すると自分の服用情報を失ってしまうことになる	209	19.1
紙の書類なのでデータとしてPCなどで活用できない	136	12.4
複数の薬局にかかるとその分だけ手帳が増えてしまう	109	10.0
自分の個人情報になるので持ち歩きたくない	86	7.9
その他	19	1.7
特にない	194	17.7

Q3 お薬手帳に電子版があるのを知っていますか。(回答は一つ)

現在、紙のお薬手帳を使用している人の「電子版お薬手帳」に対する認知度を聴取した結果、「電子版お薬手帳」を『知っている』(「よく知っている」+「なんとなく知っている」)人は全体の13.1%であった。

性年代別でみると、20代男性は他の性年代より『知っている』割合が高く32.0%、次いで、30代男性23.7%となった。

[図3] 性年代別「電子版お薬手帳」の認知

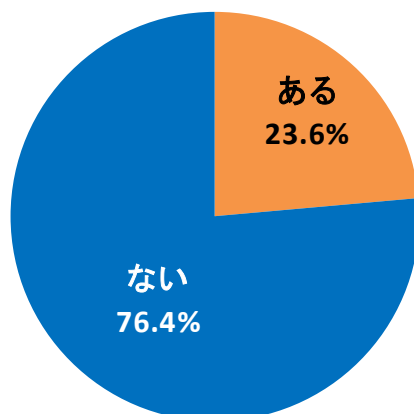


Q4 「電子版お薬手帳」を使ったことがありますか。(回答は一つ)

【回答者: Q3で「よく知っている」「なんとなく知っている」と回答した方】

さらに、「電子版お薬手帳」を『知っている』と回答した人に利用経験の有無を聞いた結果、使ったことがある人は23.6%と少ない。

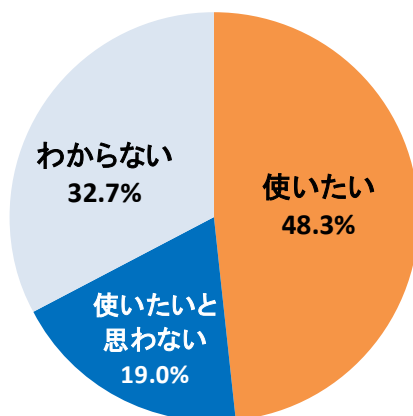
[図4] 「電子版お薬手帳」の利用経験 (n=144)



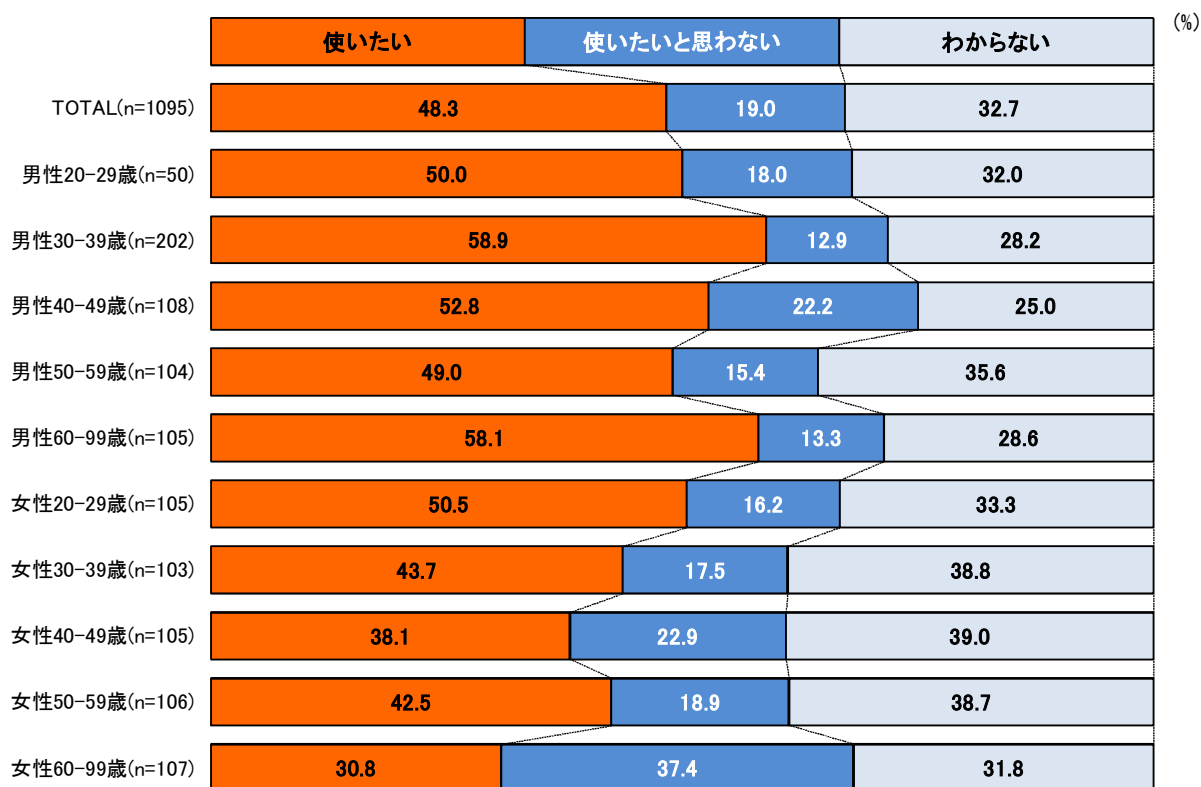
Q5 「電子版お薬手帳」を使いたいと思いますか。(回答は一つ)

「電子版お薬手帳」の利用意向は、約半数(48.3%)の人が「使いたい」と回答。性年代別で比較すると、最も利用意向が高いのは30代男性で58.9%が「使いたい」。次いで60代以上の男性(58.1%)、40代男性(52.8%)となった。一方、利用意向が最も低いのは60代以上の女性で、37.4%が「使いたいと思わない」と回答した。

[図 5-1]「電子版お薬手帳」の利用意向 (n=1095)



[図 5-2]性年代別 「電子版お薬手帳」の利用意向



Q6 電子版お薬手帳を「使いたい」理由はなんですか。(自由回答)

【回答者: Q5 で「使いたい」と回答した方】

電子版お薬手帳を「使いたい」と回答した人に理由を自由回答で聴取した。529 人から得られた回答をキーワードで分類した結果、最も多いキーワードは『便利』で約4割の人が使いたい理由として挙げた。次いで多いのは、『忘れない』、『情報管理が容易』、『かさばらない』、『紛失しない』、『環境に優しい』の順。

[表 6]「使いたい」理由 (自由回答の一部抜粋)

◆持ち運びが便利で検索もしやすいから。	20代男性
◆持ち忘れることがなく、過去の記録の閲覧や検索が便利だと思うから。	
◆情報が一元化できるため。	30代男性
◆スマホで良いならすぐ便利だから。地域ごとに乱立せず統一規格で運用が始まれば是非利用したい。	
◆スマートフォンなどに一元化したいと思っていたから。	
◆いつでもどこでも分かるから、セキュリティもかけられるから。	
◆緊急時は冊子が役に立つが、平時はデータで持つことで薬の検索やジェネリック探しが容易になるから。	40代男性
◆データの管理が便利そうだから。	
◆持ち運びが便利で、電子化できれば今までの病歴や薬の履歴などもまとめられるから。	
◆検索機能が使えそう。	
◆データの持ち運び、互換性の面で便利そう。	50代男性
◆記録を電子的に保管しておけるから。	
◆便利。長期の保存に良さそう。	
◆検診の時などすぐに自分が服用している薬の名前が言える。	
◆保存、管理がしやすい。	60代男性
◆データのバックアップができる。	
◆無くしてもパスとIDがあればまた復活できる。	
◆PCで管理できると何かと便利。	
◆現在は自分でPCに移し替えているが、電子版であれば手間が省ける。(と思う)	20代女性
◆自身の健康管理の参考資料として、検索、データ管理に便利。	
◆手軽に自身の投薬管理が出来る。	
◆長期のデータが保存できる。	
◆手帳をなくしたときのバックアップ用として。	30代女性
◆便利そう。使用方法が広がる。ペーパーレスで環境に優しい。	
◆紙媒体と電子媒体の両方で情報を管理できるため。	
◆家にいるとき、わざわざ冊子になっているものを出さなくても、パソコン1台で開けたほうが場所を取らないから。	
◆出先でも携帯から確認出来たら便利なので。	40代女性
◆手帳のデータ管理をしたい。古い手帳がかさばっているのだから。	
◆データに残せるから。	
◆紛失する心配も忘れる心配もなく、便利だから。	
◆かさばらずに経年変化を見ることができるから。	50代女性
◆一覧で見やすそうだから。	
◆紙で残すより確実にデータが残せるから。	
◆スマートフォンなら忘れず携帯しているから。	
◆何年前にどんな薬を服用していたか古い内容を検索できたらいいなと思います。	60代女性
◆個人情報自分で管理できて安心。	
◆お薬手帳が増えても以前の情報をすぐに調べられると便利だと思うから。	
◆パソコンで手軽に薬の服用記録を見ることができるから。	
◆何となく使ったみたい。	60代女性
◆きちんと管理できそうなので	
◆データ管理できる。	
◆紛失に備えられる。	
◆紙の手帳をもし失くしてもどこに居てもPCさえ見られれば何時でも確認出来るから。	

Q7 「電子版お薬手帳」を使いたいと思わない理由はなんですか。(自由回答)

【回答者: Q5 で「使いたいと思わない」と回答した方】

電子版お薬手帳を「使いたいと思わない」と回答した人に理由を自由回答聴取した。208 人から得られた回答をキーワードで分類した結果、『面倒くさい・不便』、『必要ない・冊子で十分』というキーワードが多く挙げられた。そのほか『情報の流出が心配』、『スマホや PC などの媒体がない』などが挙げられた。

[表 7]「使いたいと思わない」理由 (自由回答の一部抜粋)

◆電子データを信用していないから。	男性20代
◆スマホを持っていない。	
◆自分に処方された薬の名前や種類を覚えられなくなりそうだから。	男性40代
◆結局紙のほうが便利だから、フィーリングでページを開けて使いやすい。	
◆手帳式で十分だと思う。	男性40代
◆電子版を見るのが面倒くさくて多分見ないと思う。	
◆電子デバイスのセキュリティを信用していない。	
◆面倒で特に必要ない。	男性50代
◆スマホを持っていないから。	
◆電気が無ければ使えない。機械はいつか壊れる。	男性60代
◆通常のお薬手帳で十分。	
◆スマートフォンや携帯などを使っていないので電子手帳は要らないと思う。	
◆電子版の媒体がない。操作が面倒そう。	女性20代
◆電子版だと、人前で確認がしにくいこと。紙での情報が一番安心できることからです。	
◆個人情報の流出が心配だから。	
◆電子版にしたとして、通院時に電池が切れたらどうしようと気になるから。	女性30代
◆紙の手帳だと、子どもの受診を他の人に頼んだときにも持たせられて便利だから。	
◆すぐ見たい時には冊子が便利。祖母が倒れた時、バックにお薬手帳が入っていて救急隊員がすぐチェックできた。	
◆冊子になっているほうが病院や薬局で使用しやすいように思うから。	女性40代
◆いつでもばっと出せるのがこの手帳の利点だと思っている。	
◆紙の手帳で十分だと思う。パスワードなどを登録すると思うと、いやだから。	
◆操作が面倒、良く分からないと思う。	女性50代
◆停電のとき、充電ができず使えなくなるかもしれない。重い。	
◆スマートフォンを使用していないため。	
◆入力することが面倒に思うからです。	
◆電子版は苦手。	女性60代
◆従来のお薬手帳の方が、外で自分で確認が出来便利。	
◆紙媒体だと取っておくことができ、持参ができるから。	

Q8 「電子版お薬手帳」にあると便利だと思う、使ってみたい機能はなんですか。(回答はいくつでも)

電子版お薬手帳にあると“便利・使ってみたい機能”のトップ3は、「薬の効能、副作用などの詳細情報がわかる」(58.2%)、次いで「薬代などの医療費の記録」(41.7%)、「これまでの通院記録」(37.0%)となった。

[表 8]「電子版お薬手帳」にあると便利・使ってみたい機能

	回答者数	%
TOTAL	1095	100.0
薬の効能、副作用などの詳細情報がわかる	637	58.2
薬代などの医療費の記録	457	41.7
これまでの通院記録	405	37.0
次回の診察予定日	371	33.9
薬の飲み忘れチェック機能	357	32.6
残っている薬の数を知らせてくれる機能	299	27.3
薬を服用するタイミングを知らせるアラーム機能	215	19.6
血圧・体温などのバイタルサインの記録	189	17.3
緊急連絡先のメモ欄	186	17.0
毎日の健康状態の記録	164	15.0
近隣の地図情報	55	5.0
わからない	111	10.1
この中にはない	93	8.5

以上

【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

■日本調剤株式会社 広報部 広報担当

TEL:03-6810-0826 FAX:03-3201-1510

E-Mail:pr-info@niccho.co.jp